

資料室だより③

○ 『豊田講堂』『歴代総長と名大史』の増補版を刊行しました

大学文書資料室（以下、本室）では、平成28（2016）年9月に『豊田講堂—Toyoda Auditorium—』（名大史ブックレット第9巻）の、平成29年3月に『歴代総長と名大史—名古屋大学75年の軌跡—』の増補版を刊行しました。

『豊田講堂』は、初版が平成16年に刊行され、名古屋大学のシンボリックな建物である豊田講堂の歴史を手軽に知ることができる読み物で、全学教育科目「名大の歴史をたどる」のテキストとしてはもとより、さまざまな場面で活用されて来ました。平成22年には、平成19年に竣工した全面改修・増築工事のことなどを増補した第二版が刊行されました。そしてこのたび、在庫が払底したことを受けて第三版を刊行することになりました。第二版刊行後に相ついで、国の登録有形文化財への登録、BELCA 賞受賞などのトピックが増補されています。

『歴代総長と名大史』（名古屋大学発行、本室編集）は、初版が平成26年に刊行され、同年のホームカミングデイの参加者にもれなく配布されました。本ニュース第32号でも紹介しましたが、名古屋大学の歴代総長全員と前身学校の主な校長等を取り上げ、その個性に注目しつつも、それぞれの在任時代の事蹟についても紹介し、全体として名古屋大学史を通観できるようになっています。今回は、好評につき在庫がなくなったこともあり、現在の松尾清一総長のページ等を増補して、『歴代総長と名大史—名古屋大学80年への軌跡—』と改題して刊行しました。

入手をご希望の方は、本室にご連絡ください。1部であれば無料ですが、多部数をご希望の場合は、原価額の代価をいただくことがあります。

